



## FP Topics =クラウドファンディングとは= 2020年8月号

夏もそろそろ終わりを迎えようとしていますが、まだまだ暑い日が続きます。体調を崩されたりしていませんか？コロナ禍は感染者が増加しており予断を許さない状況ですが、経済の復旧が何よりの課題だと心配しています。

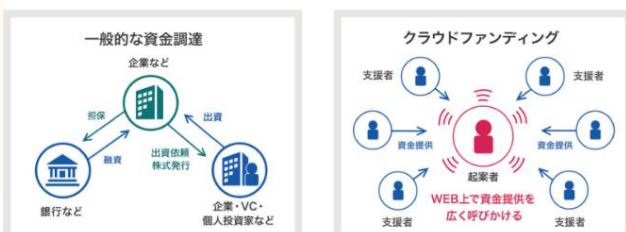
さて、今月の話題は、最近よく耳にするクラウドファンディングです。インターネット上で資金を募る何か？という理解の方も多いかもかもしれません。今月は、クラウドファンディングの基本的な内容をご紹介します。

そもそもクラウドファンディングとはなんぞや？ということですが、意外とその歴史は古く、中世ヨーロッパでの書籍の出版事業にまで遡ります。当時の出版事業は大変な労力が必要とされていたので、大きな資金が必要でした。そこで、購入予約という形式で申し込みを受け付け、十分に集金することができた書籍を出版したそうです。

日本でも、明治時代後期に同様の方法で百科事典を出版した経緯があるそうです。これも「購入型」クラウドファンディングの原型と言えそうです。

有名なお話では、アメリカの象徴《自由の女神像》の台座部分を作成する際、資金が不足したため、クラウドファンディングにより資金を調達したそうです。新聞の広告で寄付を募ったそうですが、これは「寄付型」のクラウドファンディングと言えます。

### Crowd + Funding (出典) [独立行政法人 科学技術振興機構]



### =クラウドファンディング=

クラウドファンディングは大きく下記の3種類に分類することができます。

- ・『寄付型』…金銭的リターンが無い
- ・『投資型』…金銭的リターンがある
- ・『購入型』…権利や物品を購入する

前述したところで、『寄付型』及び『購入型』はなんとなく理解できたかと思います。

『寄付型』は公益的な事業又は社会貢献事業に出資する、金銭的リターンがない（寄付金控除は受けられます）型。国内最高額として2020年7月時点で「新型コロナウイルス感染症：拡大防止活動基金」6億9500万円の寄附があったそうです。

『購入型』は出資することにより、モノやサービスの提供を受ける型。画期的な商品の開発資金に出資し、優先的にその商品を購入する権利を得たり、出資することにより、夢のようなサービスをうける権利など。例えば映画の製作費用に出資した場合、出演している俳優やタレントと会える権利など。

『投資型』は出資することにより、金銭的なりターンがある型になります。この『投資型』はさらに下記の3つの型に分けられます。

《貸付（融資）型》…別名ソーシャルレンディング  
資金調達を希望する企業に小口資金を貸し付ける型。

《ファンド型》…特定の事業に出資する型で、その事業の売上に応じて分配されます。

《株式型》…未公開企業の株式を購入する。  
株式の上場時に大きなリターン。

## =ソーシャルレンディング=

前半、クラウドファンディングの基本的な分類を簡単に説明しました。なかでも、今回特にご紹介したいのは『投資型』⇒《貸付型》別名ソーシャルレンディングと呼ばれる型です。

単純に説明すると、企業にお金を貸付けることです。企業にお金を貸付けるという行為は、一見“社債や国債”の購入と似ていますが、比較すると断然ソーシャルレンディングの方にメリットがありそうです。債券との比較で大きな違いは、利回りに大きな差があり、短期での運用も可能な点はソーシャルレンディングの優位性です。

### 【メリット】

#### 魅力的な利回り

現在、3%~10%程度の利回りとされており、債券や投資信託と比較しても高い利回りとなっています。

#### 安定したパフォーマンス

パフォーマンスも安定しており、貸付先の企業が貸し倒れ等を起こさない限り、投資元本が減少することはほとんどありません。

#### 知識や運用の手間が不要

株式投資等にくらべて、知識をあまり必要としません。運用期間が終わるのを待つだけなので、投資経験の少ない投資初心者の方にも向いています。

#### 少額・短期での運用が可能

最低1万円からの投資が可能です。運用期間も、数ヶ月~1年程度に設定されていることが多いです。

### 【デメリット】

#### 融資先の貸倒れや運営事業者の倒産

融資先の貸倒れリスクやソーシャルレンディングを運営している事業者の倒産リスクがあります。

#### 投資期間中のキャンセルはできない

ファンドに投資すると、運用期間中は途中解約することはできません。

#### 設定されていた運用期間に変更がある可能性

当初、予定されていた償還日に変更があることがあるので、注意が必要です。

### 《まとめ》

ソーシャルレンディングは、投資パフォーマンスが比較的安定しており、手軽に投資することができます。大手のSBIソーシャルレンディングなどは、口座も簡単に開設できます。少額分散投資が基本です。

## ~今月の山便り~

今月の山登りは、先月に引き続き“槍ヶ岳北鎌尾根”のお話です。先月号でもお話したとおり、北鎌尾根は一般的な登山を志す人の最終目標的な位置付けになります。オリジナルルートは湯俣から水俣川を遡り千天出合を経るルートですが、今日では上高地から入り、水俣乗越を経るルートと中房温泉から入り、貧乏沢を下降するルートが一般的です。両ルートは共に天井沢に下り立ち、北鎌沢出合いからのアプローチとなります。北鎌沢を遡り北鎌のコルから本格的な登攀開始となります。北鎌のコルに上がる最後の分岐あたりも死亡事故が多発しており、注意が必要な場所です。後日、黒部川の最奥“赤井沢”を遡行した際、お会いしたガイドさんが、何でもないところで、お客さんをアンザイレン（安全のためザイルで身体を結びあう事）されているのを見て不思議に感じていました。少しお話する機会があり、質問してみたところ、そのガイドさんは、北鎌尾根、北鎌のコルでお客さんを死なせてしまった経験があるということでした。死亡事故は危険な場所より、何でもないようなところで起きてしまうことが多いようです。危険な場所は相当の注意をはらって行動しますが、疲労が蓄積している場合や、何でもない場所に注意散漫になってしまうことに気をつけなければなりません。これは生きることや仕事をする上での教訓の一つになっています。

写真は稜線を少しずつ大槍に近づいています。大槍は不気味な曇りに覆われつつあり、強烈な夕立を予感させます。同行していたパーティーの仲間は、完全にばてている私にビヴァーク（緊急露營）を提案してくれたようですが、その時私は（槍を）抜けましようと言ったそうです。全く記憶にないのですが、最後まで付いてくれていた山の師匠はいい迷惑だったと思います。後日聞いたところ、寝ながら歩いているのか、意識が飛んでいるのかわからない状況に、ヘルメットや頬を叩きながら引っ張って歩いたそうです。記憶にないのですが・・・

